

木工材料 訂正のお知らせ

以下のように訂正いたします。

● 50 頁 d 全膨潤率 上から 2 行目

～ JIS Z 2101 : 1994 「木材の試験方法」～ → ～ JIS Z 2101 : 2009 「木材の試験方法」～

● 57 頁 下から 2 ～ 1 行目

～つまり $l' - l/l$ を垂直ひずみ～ → ～つまり $(l - l')/l$ を垂直ひずみ～

$$\text{垂直ひずみ} = \frac{l' - l}{l}$$

$$\text{垂直ひずみ} = \frac{l - l'}{l}$$

● 66 頁 5.9 硬さ 上から 4 行目

JIS Z 2101 : 1994 「木材の試験方法」～ → JIS Z 2101 : 2009 「木材の試験方法」～

● 104 頁 4.3 防腐薬剤 上から 4 行目

～ JIS K 1570 : 2004 「木材保存剤」～ → ～ JIS K 1570 : 2010 「木材保存剤」～

● 181 頁 表 8-1 のタイトル

一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101 : 2004 「一般構造用圧延鋼材」)



一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101 : 2010 「一般構造用圧延鋼材」)

● 181 頁 表 8-1 一般構造用圧延鋼材 左欄 「種類の記号」 2 行目

SS440 → SS400

● 181 頁 表 8-1 一般構造用圧延鋼材 右欄 「摘要」 3 行目

～平鋼及び棒鋼, 辺又は～ → ～平鋼及び径, 辺又は～

● 182頁 表8-2 のタイトル

炭素工具鋼鋼材 (JIS G 4401:2006「炭素工具鋼鋼材」一部抜粋)



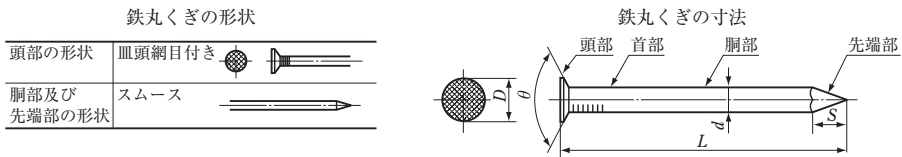
炭素工具鋼鋼材 (JIS G 4401:2009「炭素工具鋼鋼材」一部抜粋)

● 188頁 表8-3 のタイトル

鉄丸釘の規格 (JIS A 5508:2005「くぎ」) → 鉄丸釘の規格 (JIS A 5508:2009「くぎ」)

● 188頁 表8-3 鉄丸釘の規格 を以下に差し替える。

表8-3 鉄丸釘の規格 (JIS A 5508:2009「くぎ」)



[単位: mm]

呼び	長さ L		胴部径 d		先端部の長さ S	頭部径 D		頭部角度 θ (参考)
	寸法	許容差	寸法	許容差		寸法	許容差	
N19	19	± 1.0	1.50	± 0.05	1.2以上3.0未満	3.6	± 0.36	120°
N22	22	± 1.5	1.70	± 0.06	1.4以上3.4未満	4.0	± 0.40	
N25	25				1.5以上3.8未満	4.5	± 0.45	
N32	32	± 2.0	1.90	± 0.08	1.7以上4.3未満	5.1	± 0.51	
N38	38		2.15		2.0以上4.9未満	5.8	± 0.58	
N45	45	± 2.5	2.45	± 0.10	2.2以上5.5未満	6.6	± 0.66	
N50	50		2.75		2.4以上6.1未満	7.3	± 0.73	
N65	65	± 3.0	3.05	± 0.08	2.7以上6.8未満	7.9	± 0.79	
N75	75		3.40		3.0以上7.5未満	8.8	± 0.88	
N90 ^{注)}	90	± 4.0	3.75	± 0.10	3.4以上8.4未満	9.8	± 0.98	
N100	100	± 4.5	4.20		3.7以上9.2未満	10.3	± 1.03	
N115	115		± 5.0	4.60	4.2以上10.4未満	11.5	± 1.15	
N125	125			5.20				
N150	150							

注) N90の頭部径は、2012年3月31日までは参考値としてもよい。ただし、その場合、呼びは“N90:2005”とする。